

知床地区ロングステイプラン コンテンツ

斜里町～ウトロ温泉・羅臼町・標津町・清里町



ひがし北海道観光事業開発協議会
easthokkaido.com

【体験・ビューポイント】

知床五湖ガイドウォーク

斜里町



「野生動物との共生と植生保護」をテーマにした映像を使ったレクチャー受講をH23年度から導入。世界自然遺産として初めての利用調整地区導入の背景や貴重な生態系の多様性をガイドから学ぶ。地上歩道のみは無料、8/1～は地上歩道と高架木道が接続し両方通行できます。

知床世界遺産センター

斜里町

海・川・陸の様々な自然環境に生きる生物のつながり「生態系」や、流氷をはじめとした海の恵みに生かされる豊かな生物の種類「生物多様性」。知床の自然とその風土から発祥した文化・歴史に加え、なぜ遺産登録されたか、その理由と価値を守るためのルール・マナーをお伝えしています。実物大の写真パネルや実物大・実物重量のハンズオンアイテムで知床に生息する野生動物たちを擬似体感できます。また60人程度が入れる映像レクチャー室もあります。



知床五湖について、詳しくは



散策予約
システム

www.goko.go.jp/

携帯予約
システムへ

旅行会社様
造成方法、Q&Aページへ



【体験・ビューポイント】

知床博物館

斜里町



知床の鳥類・哺乳類などのはく製や展示、オホーツク文化、アイヌ文化、明治以降の開拓の歴史など、ベテラン学芸員による膨大な資料を所蔵する地の宝庫。

知床森林センター

斜里町

北海道森林管理局の施設。知床の国有林の管理・保全に関する知識や取組を職員が解説可能。入場は無料、材料費100円～の各種木工体験が可能。



【体験・ビューポイント】

知床ごんた村(収穫体験)

斜里町



5月オープン予定。7～10月に露地・ハウスでトマト・とうもろこしなど各種野菜の収穫体験ができる。調理実習棟ではもぎたて野菜の窯焼きピザを作るなどの食育体験が可能。

北のアルプ美術館

斜里町

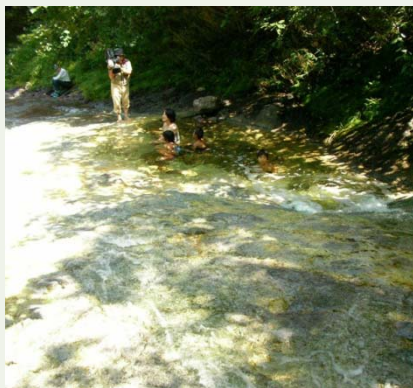
山の文芸誌アルプに寄稿した作家などの美術品を展示。登山をしない人も、随筆集「アルプ」のバックナンバーを読みふけると登山の魅力に触れられ、つい長居してしまう。



【体験・ビューポイント】

カムイワッカ湯の滝について

斜里町



上部の「四の滝」は落石のため利用できず、現在水温30度の「一の滝」とその上部が利用可能。

・22年度は7月～9月シャトルバス利用のみだったが、6年ぶりにマイカー利用可に。

【開通期間】6月1日 11:00～ 11月上旬頃まで

【シャトルバス】8月1日～25日、9月15日～24日（マイカー、貸切バス不可）

電動アシストレンタサイクル

斜里町

- ウトロ温泉の知床第一ホテル、ホテル知床で計15台配置。
- プユニ岬・夕陽台・オシンコシン往復などのエコ旅を。
ガイドとの組み合わせ利用も可能。
- 料金は1時間以内500円～8時間2500円まで各種あり
- 知床サイクリングマップ進呈



【体験・ビューポイント】

日本百名山登山

斜里町

羅臼町

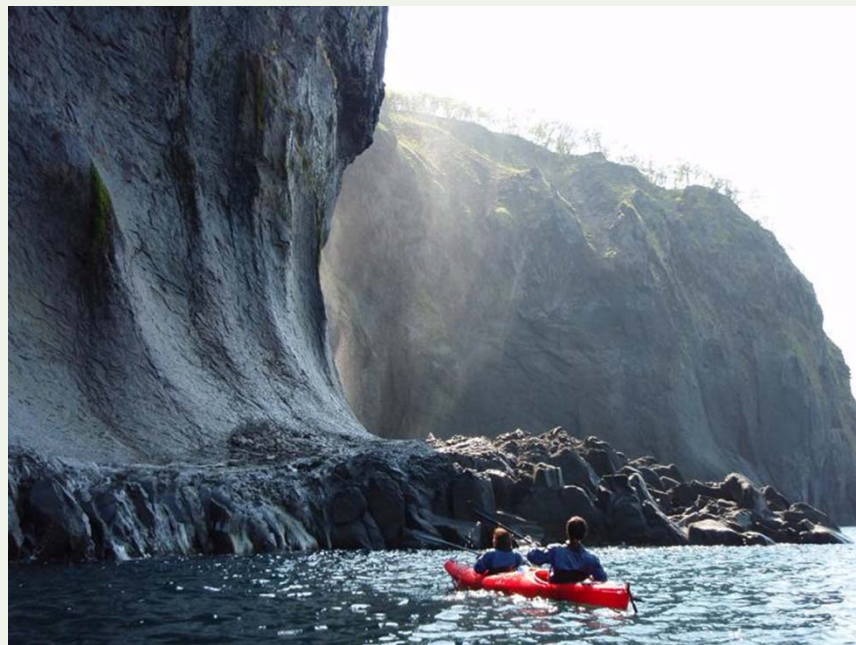


羅臼岳登山が人気。山頂からは国後島と根室海峡、オホーツク海の大パノラマが広がり、離島にいるよう。地元の山岳ガイドも手配可能。H23年は数年ぶりに連山縦走が可能な硫黄山登山口の利用が通行可となる。期間は6/25～8/25まで。

断崖シーカヤック

斜里町

100mを超える垂直な断崖沿いに進むシーカヤックツアー。最近利用者が増加。「フレペの滝」を海から見上げ、海鳥たちの声を聞く、日本屈指の体験。安定感ある艇を使うので、転覆することはほとんどない。初心者の参加がほとんど。



【体験・ビューポイント】

忠類川サーモンフィッシング

標津町



事前の登録で雄大な川でサケマスを釣る。初心者でもガイドの案内がある。事前申込必要。締切など要問合せ 利用料1日3500円ほか

期間：8月～11月 道具エサレンタル可

問：標津町役場水産係 0153-82-2131

羅臼湖トレッキング

羅臼町



原生林にかこまれた知床半島最大の湖。道中に羅臼岳が逆さまに映る三の沼がある。木道の整備が無く軽登山の心構えで。

羅臼ウォッチング船・海の生き物遭遇率

羅臼「知床ネイチャークルーズ」HPにて最新データを公開！

羅臼町

【体験・ビューポイント】

漁港&漁業施設見学

標津町

羅臼町



- ①早朝セリ見学、ウニなど種苗施設見学
（羅臼・町民ガイド1名2,500円 所要1時間
1~10名実施 3組計60名まで観光協会を通じ対応可）
- ②秋の早朝鮭水揚げ見学

オロンコ岩

斜里町

ウトロ港近くにある、高さが60mもある巨岩。周辺に住んでいた先住民族「オロッコ族」が名の由来。岩を砦とし、アイヌと戦ったと伝えられます。170段あまりの急な石段を上がる上っていくと頂上は平らで、整備された木道があります。初夏にはユリなどの高山植物が咲き乱れ、見降ろすと岩礁が透けて見えるほど青く澄んだオホーツク海やウトロの港や町並み、知床連山、奇岩カメ岩・ゴジラ岩・三角岩などが広く見わたせます。

